

築こう！平和 活かそう！憲法

大田区職員9条の会ニュース

第125号 2017年9月19日 編集 大田区職員9条の会事務局
大田区職員労働組合気付

戦争法可決から2年 今こそ戦争反対の声を 大きくまき起こそう！

戦争法可決から2年の現在、日本及び周辺において今までにない平和を脅かす事態が引き起こされています。北朝鮮金正恩政権がミサイル発射を繰返し、広島型原爆の10倍以上の威力の核実験を行いました。これは私たちが希求する平和な社会に敵対する行為です。一方米軍は韓国軍との合同軍事演習や自衛隊との合同演習を繰返しており、トランプ政権の北朝鮮政権へのさらなる挑発で、一触即発の状況です。

日本政府はアメリカトランプ政権が北朝鮮へ軍事行動を起こすような事態となれば、アメリカとともに参戦できる法的根拠を戦争法施行により手にしています。

2年前、政府は戦争法により憲法を変えることなく「集団的自衛権の行使」を行えるようにしました。「存立危機事態」等の要件に該当すれば派兵し、他国支援のために攻撃することも他国の後方支援をすることも可能としたのです。そしてどういう場合に自衛隊が武力行使できるのかは政府の判断に任されることになりました。実際、自衛隊による米艦防護や駆け付け警護など、これまでできなかった軍事行為が行われてきています。

防衛省は総額が5兆2551億円に上る来年度予算の概算要求を行いました。陸上型のミサイル迎撃システム「イージス・アショア」の導入費用がこれに上積みされます。

長距離射程を持つイージス・アショアにより国土の防衛が強固になると説明する一方で、安倍政権内からは、防衛のためには（ミサイルを発射するような）敵基地を攻撃することが必要だとの意見まで出ています。実際、小野寺新防衛大臣は就任早々に敵基地攻撃能力の検討を言い出しました。歴代政権が憲法9条の下、他国への武力攻撃は行わないため「保有できない」としてきたにも関わらずです。日本周辺での軍事的緊張を利用して敵基地攻撃能力の保有を正当化し、最新鋭のステルス戦闘機F35の導入も当然であるかのような世論形成を図ろうとしているのです。

北朝鮮の脅威を訴えて防衛予算を飛躍的に増額し、敵基地攻撃能力を高めることで平和が作り出せるのか、私たちは冷静に判断することが求められています。

私たち労働組合や市民が戦争反対を訴えることの意味がますます重要性を増してきています。武力による威嚇や挑発の王脩の危険性を訴え、今だからこそさらに戦争反対を強く訴えていく必要があります。

10月4日（水）18時30分～

（仮称）翁長知事を支援し辺野古新基地建設を許さない集会

場所：日比谷野外音楽堂

主催：「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

風船爆弾製造所は大田区にもあった

～ 陸軍登戸研究所を見学して ～

私は、東京全労協が9月2日～3日行った交流合宿に行きました。明治大学生田校舎にある「登戸研究所資料館」そして新大久保にある「高麗博物館」に行き、泊ったところは小林多喜二の隠れ家として知られる七沢温泉の福元旅館でした。ここでは、陸軍登戸研究所を見学した感想を書きたいと思います。

「風船爆弾」の研究開発が行われていた「陸軍登戸研究所」

登戸研究所で作られていた物は「偽札」「生物化学兵」などでした。また、「風船爆弾」の製造のための研究も行われていました。日本の敗戦が濃厚になっていた1943年からこの研究は始まりました。太平洋を偏西風に乗って横断し米国本土を直接攻撃するために作られたこの兵器は、牛に感染させる「牛疫ウイルス」が搭載される予定になっていました。研究所ではこのウイルスの製造研究も行われていました。実際にはウイルスは搭載されず焼夷弾などの爆弾が搭載され、千葉県一宮、茨城県大津、福島県勿来から放球され、1000発以上がアメリカに到着し、45年5月にはオレゴン州でピクニック中の子供と大人の6人が落下した風船爆弾に触れて死亡しています。巨大なアメリカに立ち向かうにはあまりにも小さな兵器ですが、戦争に勝ちたい、一矢を報いたいという思いがそうしたものを作らせたのでしょうか。

大田区にもあった「風船爆弾」製造所

この風船爆弾を作ったのは女学生たちでした。和紙をこんにやく糊で張り合わせ風船爆弾は作られました。大田区役所のすぐそばにあった「国産科学工業研究所」において風船爆弾に取り付ける砂袋（高度を調節するためにつけられた）を学徒動員された女学生たちが作っていたという証言記録が大田区史研究「史誌」33号に掲載されています。『当所内での仕事については、親兄弟といえども絶対に口外してはいけない』と言われて、何になるものかも明らかにされず、大勢の憲兵が監視する中で作業が行われていたと証言しています。風船本体の製造は劇場や国技館などで行われていました。まさに、国民総動員で行われていた戦争の一端を垣間見ることができる証言です。

今から考えると稚拙な作戦のように思います。しかし、戦争は人々の理性を失わせながら進められるのです。今では、「風船爆弾」ではなく、ミサイルや原子爆弾が『兵器』として開発され、軍拡競争が進められています。人や生物が住むこの地球を戦争という行為で壊してしまっているのでしょうか？ 陸軍登戸研究所を見学して改めてそのことを強く思いました。

原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備抗議！
母港撤回を求める10・1全国集会
横須賀ヴェルニー公園 15：00～
主催：神奈川平和運動センター

安保法制の
憲法違反を訴える

私たちは
戦争を
許さない

2017年9月28日(木) 18時30分
日本教育会館にて市民大集会

- ◇日 時：9月28日(木) 18時30分～
- ◇場 所：日本教育会館
- ◇資料代：500円
- ◇主 催：安保法制違憲訴訟の会
- ◇協 賛：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会